



ぶどうのささやき

5号

2009年
8月15日発行

地域経済の活性化を目指し、社会貢献をしています。

中小企業に信頼されるパートナーとして

財団法人 神奈川産業振興センター 理事長 前田 重一

中小企業の方々と同じ立場にたって、どうぞ支援が出来るかを一緒に考えていくことが私どもの仕事です。企業の社長さん方のお声を伺っておりますと、この不況がいかに深刻なものであるかを、本当に身近に感じる毎日です。

資金繰りが思うように行かず、あるいは受注減により、図らずも休業を余儀なくされる企業の方もいらっしゃいます。一方、この不況の中、力強く経営を進めていらっしゃる企業も、またお見受けします。

このような中で、私どもも、どうしたら、企業の皆様のお役に立てるかを考え、力いっぱい支援に努めさせていただいております。

私事で恐縮ですが、少々「書」をたしなんでおります。書というものは不思議なもので、ひとつの型から入り、それを愚直に繰り返し突き詰めていくことから、自ずとそれを書いた者の個性がにじみ出てくるように思います。

僭越ながら、企業経営というものも、どこかそれに通ずるものがあるように思います。ものづくり企業で言えば、市場動向に気を配りながら、自社の技術を生かした製品を作り、販路を拡大していく。こういった企業経営のイロハをしっかりと抑えながら、それぞれの企業が、その時々身の丈にあった経営をしていく。その繰り返しの中、自社の技術を生かした研究開発により、個性的な製品が生み出されていく。

このような企業のお手伝いをさせていただくのが、私どもの役目であると心得ております。

私どもはこの不況の中、なんとか企業の皆様のお役に立てるよう、本年6月に組織をより効率的に改め、



また「中小企業の役に立ち、中小企業に信頼される県内産業振興拠点を目指して」をスローガンに、新たな支援計画を策定いたしました。支援メニューも強化し、企業の皆様とともに歩む「ハンズオン」の支援を充実させ、企業

の皆様とともにこの不況を乗り切れるようできる限りの努力をしております。

具体的には、中小企業の事業計画を評価し、専門家がそのブラッシュアップを図る「ビジネス可能性評価」事業と、私どもがコーディネーターとなり産学連携を強力に推進する「コンソーシアム」事業を充実させ、企業の新たな事業展開をお手伝いしております。

さらに、取引の拡大、設備の導入、資金調達、販路拡大、商店街振興のほか、専門家派遣による課題解決のお手伝いや、専門人材をご紹介のご支援、また、企業の国際化のご支援なども行っております。

これら支援事業の充実強化により、今まで以上に企業の皆様のご期待に沿えるよう、力強いパートナーとしての役割を果たしていきたいと思っております。

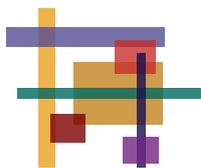
産業クラスター研究会の方々とも、今後、ますますの連携を深め、ともに真に中小企業の役に立つ、信頼されるパートナーとして、活動してまいりたいと思っております。

クラスターとは、ぶどうの房や羊の群れを意味します。米国の経済学者マイケル・ポーター氏が著書『経済戦略』の中で異業種間のネットワークを構成している状況を意味するものとして『産業クラスター』という言葉を使っています。私たちは地域経済活性化への貢献を目指して、2003年8月に産業クラスター研究会を設立しました。

●新理事長の挨拶

頼りになる産業クラスター研究会に

『ボトムアップ』で！！



理事長 木下 武

今年5月の総会・理事会において理事長に選出され、昨今の未だに脱出できない経済不況下のもとで改めて身の引き締まる思いです。

今年度は当研究会設立の5周年記念を皆様の暖かいご支援で無事実施させていただいた節目の年ですが、「地域経済の活性化への貢献」を目指す当研究会として、私は下記に示す基本的方針で今年度の事業展開を図りたいと思います。

1. 法人会員との関係強化（支援項目の明確化＝講演会・研修会の実施等）
2. 行政機関との提携強化（業務委託の促進＝補助金申請業務の支援等）
3. 横浜市協働事業の推進（訪問回数増加による会員企業の拡大）
4. 運営方法の合理化・改善（IT化推進＝事務局業務の合理化）
5. 体質改善への基礎固め（発信力強化による個人会員増強と国税庁認定取得の推進）



これらの事業展開に際しては、今までの拡大路線志向に、地に足の着いた着実思考も加えたチームワークで一步一步着実に前進して行きたいと考えています。既に二ヶ月余りが経ちましたが諸先輩が築いた基盤をベースに、各理事に職務権限を委託し、担当部会

が自発的に活動する「ボトムアップ」で業務が推進されつつあります。

特に本年度の最重要課題「法人会員との関係強化」も各法人代表者との意見交換会や個別訪問を通して皆様方の忌憚のないご意見に接し、さらなる関係強化の具体策もまとまりつつあります。

私も含めて大半の役員が経験不足で不慣れな点も多々ありますが、本年上期が「選択と集中をモットーに法人会員皆様のご要望を採り入れつつ、個人会員各位とともに、任命責任を果たすべく最善の努力を傾注する覚悟でございますので、宜しくご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

【歳時記】 最近、親子三代でホタルを見る機会があった。4歳の孫はともかく、30歳の娘まではじめて見たという。伊豆、城ヶ崎海岸にあるペンションに泊まったときのことである。夕食後、オーナーからホタルを見ることができるところがあるので行かないかとの誘いを受けた。相客の子供連れ夫婦と一緒に出かけた。車で10分たらずで田園風景に出会う。折りからの小雨の中、あつちでゆらゆら、こっちでゆらゆらと飛んでいる。蛍狩りをしようという気にはなれないほどの希少さである。

帰りの車の中で蛍の歌が口から出て来た。50年間思い出したこともない歌詞であった。「蛍の宿は川ばた楊楊おぼろに夕闇寄せて…」で始まる懐かしいメロディである。運転していた妻も口ずさむ。思わぬ爺婆のコーラスに娘も孫もびつくりしたであろう。

後日談があり、うろ覚えのところを適当に作詞(?)して歌ったのを孫がしっかりと覚えていて、それを直すのに一苦労した。最後の、「ホー、ホー、蛍が灯をとます」を「目を覚ます」と歌ってしまったのである。無意識のうちにメダカが夢を見る対句を連想していたようだ。

横浜市瀬谷区で「ホタルの里山づくりに」に注力しているNPOもあると聞く。頑張っしてほしいものである。

(弓弦葉)

部会活動紹介

★企業支援事業部会★★★★

新年度を迎え、理事長方針も「選択と集中」ということで、横須賀地区の法人会員の支援活動にさらに注力することになり、法人会員を交えての意見交換会を2回と、各会員企業を訪問し支援内容の要望をお聞きしました。

大変厳しい経済情勢の中、どのようにして販売の維持・回復をしていくか悩んでいる会員が多く、新規販売先の開拓や営業活動に関する支援の要請が多く寄せられています。

幸い当会には永年営業に携わり営業経験豊かな個人会員がいるため、会員企業の新人から社長までを対象とした営業研修会を企画し実施しました。（*関連記事5ページ）

★住宅リフォーム事業部会★★★★

4月から新体制のもと、PR活動重視の方針で活動をスタートしました。まずは、横須賀市内、森崎等の4地区町内会で「悪質業者にだまされないために」のテーマでセミナーの開催を計画します。

また、21年度の横須賀市へのNPO活動補助金申請を完了し、7月には新規会員数人の加入が確定しました。さらに市との提携強化、活動の活性化を図り、市民へのさらなる認知度向上に努めていく所存です。

★ホームページ事業部会★★★★

新規ビジネスの開始にともない、法人会員1社から自社のホームページのページ増設の依頼がありました。原案が既にできていたので、トップページに置いて新規ビジネスが目立つ工夫をした上で、ホームページ化しました。また、別の法人会員から新規ビジネスの立ち上げとホームページでのプロモーションの相談がありましたので、関連業界のホームページ調査も含めて対応しています。

◆◆◆◆◆新会員紹介◆◆◆◆◆

【法人会員】* (株) 高戸工務店 代表 高戸 輝男 (横須賀市田浦町3-30)

【個人会員】* 馬來 義弘 (前神奈川県産業技術センター所長)



★横浜事業部会★★★★

4月より、金沢工業地区の会員募集と併せて横浜北工業地区の会員募集のための活動を展開しています。このほど横浜市と横浜北工業会殿のご支援を得て、同会にて協働事業の説明会を実施させていただきました。同時に協働事業の趣旨を説明したチラシを300部作成、同会会員企業の皆さまに配布していただきました。

北工業会に配布したチラシ

よこはま市との協働事業で中小製造業支援事業の紹介

事業目的

① 横浜地区中小製造業と地方中小製造業の相互補完関係の構築。
② 双方の良い点を結びつけることにより、ものづくり現場の再生と創生。

横浜市中
小製造業 ↔ 横浜市⇨産業クラスター研究会(協働事業) ↔ 地方中小
製造業

事業内容

①生産関係支援 ②販売・仕入れ先紹介 ③技術開発、技術アドバイス
④経営支援 ⑤社員教育支援 など

これまでの取組み課題

A社 飾物材料調達
B社 厚物薄加工
C社 操作盤、制御盤製作先
D社 X線応用新製品開発
E社 新技術プラント
F社 LED新開発商品
G社 工作機械販路拡大
H社 生産体制改善指導
I社 海外取引の開拓
その他・石炭金型飾物で工程短縮・金型なし、飾物メーカー探し・LEDによる作物栽培

中国より調達 ⇒ 国内調達に切り替え
加工メーカーを探し、契約成功した。
数社紹介し、1社と契約成立。(コスト低減のため)
産学共同開発事業のコーディネート
特許申請により取得
市場調査 ⇒ 改良点を提案
機械専門商社を紹介、販売契約成立。
多品種少量生産の効率アップを計る。
取扱説明書の翻訳により販路拡大を紹介。
・山梨のメーカーを紹介・県内メーカーを紹介、見取り検討中。
・事例を調査して、提出済み。

私たちの支援体制

企業のOB集団一様な経験と人脈活用
機械工学 5名 電気工学 4名 金属工学 1名 応用物理・科学 2名 化学(高分子化学、化学工業) 2名 建築 4名(一般建築士を含む) 木材工業 1名 経済 1名 法学 1名 農業 1名 企業教育 1名 会計 1名 (海外勤務経験者 4名)

なんでもご相談ください!

NPO法人 産業クラスター研究会
連絡先 横浜市中区尾上町5丁目80番地 神奈川中小企業センタービル 7F12号室
TEL: 045-633-6488 Fax: 045-633-5193 E-mail: cluster@yokohama-lybb.ne.jp

★海外関連事業部会★★★★

昨今の海外ビジネス大幅減の中であって、堅調さを維持する米軍入札に対応する会員数社に対して支援を継続しています。法人会員各位におかれては得意分野でまずは、応札を検討されることを期待しています。

法人会員紹介

アポロプレジジョン株式会社

〒239-0836 横須賀市内川1丁目3番26号
 ☎046-835-1333(代) FAX.046-835-8895
 http://www.apcd-eng.com

弊社の設立は、昭和45年6月です。

アポロ宇宙船が打ち上げられた年に設立し、雄大な宇宙をも目指す会社として大きな希望をもってアポロ製機としてスタートしました。

発足時は、精密金型を中心（特に半導体関連の治工具）とした、精密金属加工の製造が主体でした。原子力燃料棒関連の部品加工をきっかけに、加工装置に分野を広げるチャンスが生まれました。平成7年に社名をアポロプレジジョンに改名し、部品加工技術をベースとしたシステム機器の製造に着手しました。

その頃より、設計部門に重点を置き長年蓄積された経験を基に、構想設計の段階からお客様と一緒に開発に取り組む提案型営業ができるようになってきました。その間、今まで関わったことのない“鱒の押寿司製造装置”などの食品加工機械や“放射線試薬分注装置”等の医療機器検査装置の開発製造を経験することで、システム機器のノウハウを蓄積してきました。

平成14年頃より、大型液晶テレビ及びウエハーの大型化に伴い、大型検査装置のニーズが高まってきた折り、センサーメーカーとタイアップして、中・大型検査ステージの開発・製造・販売を進めてまいりました。

昨今は、これらの技術を基に应用範囲を拡大し、いろいろな種類の検査に対応できるようあらゆるセンサーを駆使し超高精度の大型検査装置の開発ができるようになりました。

現在、太陽電池用として、高感度カメラ、変位センサー、3次元レーザー顕微鏡等の搭載により精度の高い大型検査ステージの開発製造を進めております。

◎現在経営の柱は

1. 原子力関連検査装置、X線非破壊検査装置およびそれらの治工具の設計製造
2. 中・大型を中心とした超高精度ステージの製造とその関連ソフトの開発
3. 大学、専門学校、官公庁等の公的研究機関及び各種業界の研究所と連携を掲げております。

アポロプレジジョンは、あらゆる業界と協力・強調してスピードと柔軟性を持ってお客様に応える会社として邁進しております。

高精度位置決め機構 XYZ ステージ



免震装置を備えた XYZ ステージです。

各1μ（診）の位置決め機構を持ち、専用ソフトウェアによる連続した位置決めを行うことや自動ローディング、安全対策などもお客様に合わせた条件で制作します。装置は軽量、高剛性で免震機構を持つため、工場内に設置して高精細な定点観測も可能です。

【搭載機器例】

- *高精細変位センサー
- *レーザー顕微鏡
- *高倍率マイクロスコープ
- *レーザー加工機 など

アポロの“ものづくりDNA”が受継がれる一貫生産



人々人々

新理事長 木下 武 さん

ポーカーフェイスの頑固さ その今日性

一筋縄ではいかない人生の達人ばかりの集まる産業クラスター研究会。二代目理事長にこのほど就任した木下武さんにご登場願いました。

初代が寝食忘れて5年がかりで揺るぎない土台と屋台骨を組んで下さった。「二代目って、大変でしょう、ご苦労さまです」「やあ、みんなに逃げられて……」とボソボソと喉の奥から言葉が返ってきました。

ソフトで自然体だが、やるっきゃない！という覚悟のほどが伝わってきます。

さて、35年型シボラレー クラシック・エンジン
積載、排気量：1000cc？、最大出力：？

昭和35(1960)年に、東京工業大学を卒業して日本軽金属に入社。総合研究所と現場を経験した後、本社の特許部に配属されて以来、工業所有権協力センター、科学技術振興機構（当時・事業団）と、特許関係の仕事に携わってほぼ30年。「いま、産業クラスター研究会でお役に立つことができるとすれば、こうした現役時代の経験に添ったことですよ、私は他に何も出来ませんから。ですから、今度理事長を引き受けたことは、私の今までの人生からすると、追いつめられて崖っぷちというところですよ。でもね、引き受けたからには、何とか全うせねばと覚悟しました」。仰るほどには、悲壮感や力みが感じられません。ポーカーフェイスな



のか、自然体なのか、それとも達観の域というのでしょうか。

小学校3年のとき、父親の郷里・下北

半島の大間の隣村に縁故疎開で一人送られ、気付いたら円形脱毛症に。大学受験で2年の浪人生活は正に崖っぷち。8年前に連れ合いが脳梗塞で倒れたときのショックは今でも思い出すと胸が痛みます。「それでも、翌々日の合唱会には出かけました」。

そんなにまでして出かける合唱団とは。大学の校章に因んで「シュワルベン・コール」と名付けられ、大学時代から続いている木下さんの「とっておきの楽しみ」だとか。「50年以上ものお付き合いということになりますね。合唱のどういうところに惹かれて？」「いやあ、何となくですよ」。頼りなさや頑固さが同居する不思議なキャラクター。

崖の上に立って好きな歌を地球の果てまで響かせながら、さて、クラスターのハンドルの向かう先は？

■ 社員研修講演会が開催されました



鈴木さんの講話に真剣な眼差しを向けノートする参加者。

今年度の活動方針による、法人会員との関係強化の第一弾として、去る7月29日（水）、横須賀産業交流プラザで、社員研修講演会が開催されました。講師は「生まれかわってもまた営業をやる」と言い切るほどに、営業の奥義を極めた前副理事長の鈴木清文さん。

文学部出身の素人から大手総合電気メーカーのトップ営業マンに至るまでの積み重ねを、実体験を交えての講話でした。参加者を20名に絞り、一人一人に語

り掛けるように話す2時間には、「誠実とやる気」が貫かれていて、鈴木講師の40年が凝縮されたひとときでもありました。

当日配布された鈴木ノート「営業の心構え」42項目は、営業のみならず、日常生活でも人としての暮らしの在りように示唆すること大です。

参加者から寄せられた主なご意見としては
*とても参考になった。*モチベーションを如何に保つか、上げるかについてもっと知りたい。*体験を基にされた営業事例など、もっと時間をかけて聞きたい。
*参加者との交流の時間などがあると良い。ディスカッションなどもっと多い方が良い。また、このような研修会を3ヶ月に1度くらいは希望。ほか多数のご意見が寄せられました。次回の企画に参考にさせていただきます。有り難うございました。

平成21年度 定期総会開催・懇親会

平成21年5月28日、本年度定期総会が横須賀産業交流プラザで開催されました。

平成20年度事業報告及び決算報告、平成21年度事業計画及び予算案、定款の変更を審議可決、また、この総会をもって理事全員が任期満了となるため新理事11名監事2名が選出され総会を終了しました。古川理事長、野村副理事長が勇退、鈴木副理事長も自己都合により副理事長職を固辞されましたので、後日開

催された理事会にて木下理事が新理事長に選出され就任しました。

古川さんは地域産業の活性化を目的に産業クラスター研究会を立ち上げ、創立以来理事長としてまさに粉骨砕身、会の発展に尽力、野村さんは会のまとめ役として、また鈴木さんは当会横浜事業の要として、夫々活躍いただきました。改めて感謝申し上げます。

総会後の懇親会は、少々固い総会とは打って違って和気藹々の談笑が続き、あっという間にお開きの時間でした。



本年度もよろしくお願いたします。古川さんを囲んで法人会員と個人会員の揃い踏み。



花束と記念品贈呈
古川さん有り難うございました。

◎このほど京浜急行さまのご好意によりまして、右のような産業クラスター研究会のポスターを、京浜急行沿線の主要駅に貼らせていただくことになりました。期間は8月中旬から一ヶ月間です。これを機に産業クラスター研究会の活動が、より多くの方々にご理解いただきますことを期待します。

いま、地域はあなた一人一人の知恵と経験が必要としています。産業クラスター研究会では、多くの仲間と語り、学び合い、行動し、地域の活性化を目指して活動するNPOとして、地域に少しづつ根を張りはじめました。

- *現役時代の経験を活かして地域に貢献したい。
 - *現役時代とは全く違う分野で地域に貢献したい。
 - *新しい仲間と充実した時間を持ちたい。
- など、動機はさまざまでも、みんな思いは一つです。まずは、一歩踏み出してみませんか。

船が経済と共に未来を拓く
内閣府認定NPO法人 産業クラスター研究会

あなたの能力を再び社会のために！

- 中小企業へさまざまな支援活動を行っています！
- 技術文書・一般文書翻訳
- 水車製造入札参加支援
- HP作成・更新・英文化支援
- 社員教育（営業マン等）
- ISO認証取得支援
- 行政補助金申請書作成支援
- 行政との関係構築
- 生産性向上支援
- 高齢者の住宅リフォーム支援
- 特許・実業・商標取得支援
- 産学官連携コーディネーション
- 新規成長のための働き方・人材探し

会員募集中 入会ご希望の方は下記の事務局にお問い合わせください

横浜事務所
〒220-0001 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階12号室
TEL: 045-633-6488 FAX: 045-633-5183

横浜事務所
〒220-0001 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階12号室
TEL: 045-633-6488 FAX: 045-633-5183

発行：NPO 法人 産業クラスター研究会 / 〒239-0847 横須賀市光の丘 8-3 YRP ベンチャー棟 209 号
Tel & Fax : 046-847-6355 E-mail : int_cluster@ybb.ne.jp
横浜事務所 / 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 階 12 号室
Tel : 045-633-6488 / Fax : 045-633-5183
E-mail : cluster88yokohama@ybb.ne.jp
東京事務所 / 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-25-21
渋谷 NT ビル 3 階 (株) リズム内
発行人：木下 武 / 編集人：卯月 文・赤羽孝之・大西洋治・大久保全勝・佐々木興吉・杉山徳義・堀家彰生